

第4学年学級活動(1) 指導案

日 時 令和5年10月27日(金) 6校時
 児 童 4年B組 計27名
 指導者 教諭 岩淵 晃児
 場 所 4年B組教室

1 議題 「高学年への道～読書プロジェクト～」

学級活動(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態

児童は、これまでに学級での係活動を通して自己の役割を果たすことを理解し、そのような姿が見られるようになってきた。しかし、友達と協力して活動する楽しさや互いのよさを認め合う気持ちなど、他者と関わりながらよりよくしていこうというような心情をもつまでには至っていない。

学級会では、学級目標や月別の目標と反省、係活動についてなどの話し合いを通して、考えのよさや心配点、改善点を出し合って、それぞれの考えの違いを明確にできるようになってきた。しかし、まとめる場面において自分と異なる考えのよさを素直に認められずに、合意形成がスムーズに行えないことが多かった。そこで、お互いの考えのよさを生かそうとする姿勢や折り合いをつけて合意形成を図る力を身に付けさせたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関するものである。

4年生は、2学期の初めに「高学年になるために必要な力を高めよう。」という目標を立てて様々な活動に取り組んでいる。どんな力が必要かということを出し合い、責任力、発信力、受け止め力、継続力、時間力、お手本力の6つにまとめ、「高学年力」とした。月の生活目標や行事の取り組みを考える際に、その力も高められるように話し合ってきた。11月の生活目標である「進んで本を読もう。」についても、これまで実施してきた取り組みを基礎にして、読書習慣を改善すると同時に、自分達で身に付けようと決めた6つの力の向上も図る。読書習慣の向上と高学年に向けて力を高める活動を関わらせることでより必要感のある話し合いをさせたいと思い、この議題を設定した。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学校生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。	楽しい学校生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。

4 活動計画

	日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 (評価方法)
事前	10月23日 (月)	・帰りの会で全体に議題を伝える。	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。	◎「読書プロジェクト」への見通しを持ち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 (学級会ノート)
	10月24日 (火) 【昼休み】	・提案者に学級会での提案理由の発表の仕方を確認する。 ・活動計画を作成する。	・計画委員で話合いのめあてを決める。	
	10月25日 (水) 【業間】	・学級会ノートや黒板掲示物を作成する。	・全員に伝わりやすいものとなるようにする。	
	10月26日 (木) 学級活動	・〈学級会ノート〉に自分の意見を書く。	・提案理由や決まっていることを踏まえた意見を持つことができるようにする。	
	10月26日 (木) 【昼休み】	・出された意見を短冊に書き、話合いの流れを確認する。	・出された意見を短冊に書き、似た意見同士で分類しながら、板書計画を立てる。	
	10月27日 (金) 【朝】	・〈学級会ノート〉を受け取る。 ・話合いの流れをシミュレーションする。	・学級会ノートに書いた自分の意見を確認しておく。 ・計画委員が見通しをもって活動できるようにする。	
本時	10月27日 (金) 学級活動	○学級会	・本時を参照	・本時を参照
事後	11月 学級活動	○振り返りをする。		◎決まった内容を意識して、あいさつに取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

読書に親しむことができ、高学年に向けて必要と考えている力が高まるような取り組み内容や工夫を考えることができる。

(2) 話合い活動の工夫

★手立て「ルーブリックの活用」

本時では振り返りの視点を「変える力」とする。学級会ノートにルーブリック表を記載したり、選択する場面でこれまでに経験した合意形成の方法を助言で想起させたりする。

★手立て「どのように工夫するか」

①の話合いで決まった活動について、キーワードに入れている高学年力がより高まるような工夫について意見を出させる。これまで行った別のプロジェクトで行った役割分担をするなどの工夫を参考にさせる。

(3) 指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 ★手立て
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題・提案理由・決まっていること・めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の考えをもって話合いに参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前に書かせておく。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議題 「高学年への道～読書プロジェクト～」</p> <p>提案理由 私達は、これまでに「掃除プロジェクト」や「文化祭プロジェクト」で高学年になるために必要な力を高めることができました。今回も児童会から出された「進んで本を読もう。」に合わせて、よりよい「読書プロジェクト」の内容を全員で決めてさらに力を高められるようにしたいと思い、この議題を提案します。</p> <p>キーワード（話合いのよりどころ） 「本に親しんで読むようになるような活動」「高学年に向けて力が高まる活動」</p> <p>決まっていること 活動を1つにする。11月、1か月間取り組む。</p> <p>話合いのめあて 自分の初めの意見にとらわれず他の人の意見を尊重しながら聞こう。みんなのことを考えて、まとめ合いをしよう。</p> </div>		
4 先生のお話		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話合いの内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みの成果を話し、この活動を通じてどうなって欲しいかも話す。 提案理由などのキーワードを押さえ、必要に応じて、補足説明する。 <p>話合いのめあて 「変える力」ルーブリックによる評価について話す。自分にもみんなにもよい結論になるように、他者の意見を取り入れることのよさについて話す。</p> </div>		
5 話し合い (1) 話し合うこと① 「取り組みの内容を決める」	<ul style="list-style-type: none"> 賛成意見、心配意見、改善意見を短い言葉で記録係に板書させ、それをもとにまとめ合いができるようにする。 話合いの途中でも、積極的に助言していく。 司会に時間を意識させ、比べ合いがある程度終わったら、まとめ合いに入るようにさせる。 必要に応じて思考ツールを使って、それぞれの案の良さを整理する。 	★手立て ◎友達の考えのよさも考えながら聞くとともに、提案理由や友だちの考えも踏まえて発言している。 【思考・判断・表現】 〈観察・発言〉

<p>(2) 話し合うこと② 「よりよい活動にするための工夫や約束」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった内容について、より自分たちの力を高めるための工夫を考えさせる。 	<p>★手立て ◎決まった実践をよりよくするための工夫や約束を考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察・発言〉</p>
<p>6 決まったことの確認</p> <p>7 振り返り</p> <p>8 先生のお話</p> <p>9 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを簡潔に発表し、確認をする。 ・ルーブリックにより自分の話し合いについて振り返る。よかった点や課題点について自己評価するとともに、友達のよかった点についても相互評価できるようにする。 ・ルーブリックにより話し合いの仕方を振り返り、よかった点や課題を伝える。 	<p>◎合意形成したことをもとにみんなで協力して取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈発言・学級会ノート〉</p>

(4) 板書計画

第十五回 四年B組 学級会

議題
高学年への道く読書プロジェクト

提案理由

私達は、これまでに「掃除プロジェクト」や「文化祭プロジェクト」で高学年になるために必要な力を高めることができました。今回も児童会から出された「進んで本を読もう。」に合わせて、よりよい「読書プロジェクト」の内容を全員で決めてさらに力を高められるようにしたいと思い、この議題を提案します。

キーワード 「本に親しんで読むようになる活動」
「高学年に向けて力が高まる活動」

決まっていること
活動を二つにする。十一月、一か月間取り組む。

話し合いのめあて
自分の初めの意見にとられず他の人の意見を尊重しながら聞く。みんなのことを考えて、まとめ合いをしよう。

⑦ かえる力	
<p>△</p> <p>・自分の意見に最後までこだわって、変えることができない。 ・自分の意見に決まらなそうなる時、ふさげんになる。投げやりになる。怒り出す。 ・みんなの意欲を下げるような言動をする。 「だって……」「ゆずれません」「そっちはいやです。」</p>	<p>◎</p> <p>「提案理由や過去の経験と照らし合わせて、変えるわけを話している。」 「A案の方が、提案理由に近づけると思うので、A案の方がよいと思います。だから意見をかえたいです。」 「みんなの意見を聞いて、前回は運動系だったので、今回は文科系の方がいいと思います。だから、今回は、A案にかえたいと思います。」 「A案もB案もキーワードの「協力・男女仲良く」にせまれると思います。でも、A案だとルールの工夫次第で、より楽しいものにできそうなので今回はA案でもなくなくていいです。」 「決まっていること」に照らしつけて、変えるわけを話している。 「みんなの意見を聞いて、はじめの会を終わりの会、そして準備の時間が1つあるとする、実質30分しかないのて、自分の意見は少し無理があると思います。だから自分の意見を取り下げて、A案にかえます。」</p> <p>○</p> <p>「賛成意見が多いもの、心配意見の少ないもの」に決めるよう、話している。 「A案には心配意見が少ないので、A案にかえます。」 「A案には心配意見が少なかったため、A案にかえます。」</p>
<p>☆</p> <p>意見を分類整理しながら変えるわけを話している。 「△は体を動かすもの、もう△は静かにできるものと考え、A案の方がいいと思ったので、自分の意見を取り下げて、A案にかえます。」 「△はたまたまあるものではないので、△をつやるとよいと思うので、今回は、自分の意見は取り下げて、Aにしたらいよいよやらないかと思いましたが。」</p>	<p>◎</p> <p>「提案理由や過去の経験と照らし合わせて、変えるわけを話している。」 「A案の方が、提案理由に近づけると思うので、A案の方がよいと思います。だから意見をかえたいです。」 「みんなの意見を聞いて、前回は運動系だったので、今回は文科系の方がいいと思います。だから、今回は、A案にかえたいと思います。」 「A案もB案もキーワードの「協力・男女仲良く」にせまれると思います。でも、A案だとルールの工夫次第で、より楽しいものにできそうなので今回はA案でもなくなくていいです。」 「決まっていること」に照らしつけて、変えるわけを話している。 「みんなの意見を聞いて、はじめの会を終わりの会、そして準備の時間が1つあるとする、実質30分しかないのて、自分の意見は少し無理があると思います。だから自分の意見を取り下げて、A案にかえます。」</p>

第十五回 四年B組学級会

話し合うこと①
読書プロジェクトの内容を決める。

賛成 心配・改善

活動①		
活動②		
活動③		

話し合うこと②
活動をよりよくする工夫や約束

話し合いで決まったこと

